

## 「知事とのフレッシュトーク」

(令和元年12月18日(水) 八戸工業大学第二高等学校・附属中学校) 概要

知事が高校生の皆さんとこれからの青森県や自分たちの将来に関して意見交換を行う「知事とのフレッシュトーク」について、八戸工業大学第二高等学校・附属中学校での実施概要をお知らせします。

科学愛好会によるマイクロプラスチックごみに関する研究成果の発表の後、高等学校及び附属中学校の代表生徒と知事が意見交換を行いました。

(参加：高等学校2学年生徒250名、附属中学校生徒30名)

### (発言生徒1、附属中2年男子)

私は、将来、教員になって青森県で働きたいと考えています。そこで、今回は学校と教育について質問します。

学校では、主に学力をつけるために教科の勉強をしていますが、将来、社会でしっかり活躍できる大人になるには、心を育てることも大事だと思います。私たちの学校では、道徳や総合的な学習の時間、学校行事などの経験を積むことで心を育てる機会を作っていますが、青森県として、特に県内の児童・生徒の心を育てるために取り組んでいることがあれば教えてください。



### (知事)

まず、青森県では教員を目指す人が少なくなってしまう、すごく困っています。県の教育委員会が「青森県の教員採用試験を受けませんか」と東京の学生に勧誘に行っているくらいです。

将来は、青森県内で教員になるつもりですか。それとも、首都圏とかかな。

### (発言生徒1)

やっぱり青森県で。

### (知事)

ぜひ青森県の教員採用試験を受けてください。

どういう試験があるのか説明しますが、何の科目の教員を考えていますか。

### (発言生徒1)

音楽や体育はあまり専門的ではないので・・・。

### (知事)

英語とか大事だから期待しています。

知事就任以来、韓国や台湾、上海などいろんなところに行っていますが、特に台湾では、小学生から高校生ままで幅広く子どもたちとも意見交換をしています。台湾などでは、自分たちだけでは生きていけないので、いろんな国の人たちと仲間になろう、世界のために自分たちは何ができるのかという

ことを真剣に考えている人たちに会います。私は中国語もそれなりには話しますが、途中で分からなくなると、台湾の小学生や中学生、大人もすぐ英語で話しかけてきます。そのくらい「つながる力」としての英語力は大事だと思っています。

ですから、教育の考え方としても、確かな学力と生きていく力を身に付けることが重要で、その中で、どのように生きるかということ、つまりは道德教育だけではなく、「つながる力」、「つながっていく力」がすごく大事だと考えています。また、今いる八戸だけの感覚にとらわれず、世界の中で、あるいは宇宙の中で生きている人間だという感覚を失わないようにしてほしいと思います。

### **(学校教育課)**

道德心を持った社会に協調できる人材の育成に関し、県教育委員会では、道德教育とキャリア教育の充実を重点指導項目としています。

道德教育の充実については、中学校で、今年度から教科書を使用しての道德科が始まりました。いろんな体験や問題解決など、様々な学習活動を通して課題を自分のこととして受け止めながら、友達との交流を通して考えを広げたり、友情・信頼とか思いやり・感謝といった道德的価値を広い視野から考えたりする授業を行っています。道德は、自立した人間として、他者とともによりよく生きるための基盤ですので、皆さんも積極的に授業や行事に参加して、友達と意見交換をしながら心を豊かにして行ってほしいです。

また、学校でのキャリア教育は、将来の見通しを持って、社会に出てから自立できるようにすることが目的です。県教育委員会では、体験活動などで努力したことやできるようになったことなどを記入する「あおもりっ子キャリアノート 明日へのかけ橋」を皆さんに配布しています。このノートは、小・中・高等学校を通して使用し、自分の成長を振り返ったりすることで、課題解決や人間関係の構築、経験を次に生かすなどの力を育てることを目的としています。

これからの時代に必要な心の成長についてですが、社会情勢の変化に向き合い、他者と協力して課題を解決したり、情報を見極めて新たな価値につなげたりする力が、今後はますます必要になってくると思います。今後は予測困難な時代になってきますが、皆さんには、その時代の変化に対応できるように、勉強のみならず、様々な体験を通して、いろんなことに挑戦する心を成長させてほしいと思います。

### **(知事)**

「つながる力」というのは、コミュニケーション能力ということですが、常に持っていてほしいのは、相手を思いやるという気持ちです。つながるためには、自分の立場だけでなく、相手がどうして怒っているのか、どうして泣いているのか、どうして笑って楽しそうなのか、そういう相手の立場を考える努力と思いやりが大事です。



(観覧の生徒に対して) 君は、どういうふうに生きていきたいですか。

### **(その他の生徒)**

自分の個性を出して生きていきたいです。

### (知事)

すごく大事だと思います。そういう時でも、自分の個性で人を傷つけたり、ぶつかったりする時に少し控えてあげるとか、そういうことを今日は言いたかったんです。

### (労政・能力開発課)

私から、キャリア教育に関連して情報提供します。

皆さんには、これからいろんな未来が待っていますが、できれば将来は青森県内で就職してほしいと、とても強く思っています。

そんな皆さんの将来の就職に役立つ、県の公式の就活アプリ「シューカツアオモリ」を御紹介します。このアプリには、県内の企業情報やインターンシップ、企業説明会のお知らせなど、今からでも、それから大学などに進学した後にでも役に立つ情報がたくさんあります。このアプリの利用者限定のクーポンもたくさん掲載していますので、ぜひダウンロードしてください。

まだまだ就職の具体的なイメージがわからないという方も多いと思いますが、このアプリを見ながら、青森にはこんな企業があるんだということを少しずつでも知ってもらえたらと思います。

また、県職員になりたいという方もいると思いますが、最近では県職員を受験する人が減ってきているので、希望してくれてとても嬉しいです。一緒に働ける日を楽しみにしています。

### (学校教育課)

先生になるために、まずは、教員免許を取らなければいけません。小学校、中学校、高等学校、特別支援学校があるので、自分が希望する校種の教員免許を取るために、どういう道に進んで、どういう勉強をすれば良いのか、リサーチしてほしいと思います。

先生は人に教える職業ですので、勉強もそうですが、県内や日本のみならず、いろんなところでいろんな経験をして、魅力的な人間になるということが大事だと思います。頑張ってください。

### (知事)

しっかり勉強してください。

### (発言生徒2、高校2年男子)

私は、野球が大好きで、将来、高校野球の指導者になりたいと思っています。しかし、最近、過疎化や少子化が進み、子どもの数が減少していることで、地域の小学校が統合されてきています。そうすると、将来的には、高校生の数も減少して、高校野球人口も減ることが予想されます。

また、働き方改革に伴い、学校での部活動の指導体制も変わる可能性があることを聞きました。私は、高校教師になり、ぜひ、部活動を受け持ちたいと思っています。

少子化を少しでも食い止めるために、女性はもちろん、男性も育児休暇を取りやすい環境を整えるとともに、子どもを産んだ家庭に手厚い経済的支援が必要だと私は考えています。10月から全国的に3歳児以上の保育料の無償化が始まりましたが、青森県独自の経済支援をお考えでしょうか。



## (知事)

いろんなことをやっていて、全国トップレベルだと自慢できることもあります。

## (こどもみらい課)

県内で行われている子育て支援の主なものについて、紹介します。

国の制度として幼児教育、保育の無償化が今年の10月から始まっていますが、県と市町村も費用負担しています。

また、お父さんやお母さんが日中に仕事している間に子どもを預ける保育所では、今回の無償化対象とならない保育料を一部軽減しています。3人目以降の3歳未満児の保育料を市役所、町村役場が軽減した場合に、県がその一部を補助する仕組みです。県は2分の1補助しています。

医療費については、乳幼児はつつら育成事業費補助金という県が単独で行っている事業があります。基本的に未就学児(0歳～6歳)の医療費を県と市町村で一部負担して、医療費を軽減しています。この医療費の軽減は、一定の所得以下の世帯が対象で、全ての子どもが受けられる制度ではありませんが、昨年の10月にその所得制限を約2倍に引き上げた結果、対象となる子どもが全体の約5割から約8割に増えました。

それから、子育て支援について、全国共通の制度ですが、「あおもり子育て応援パスポート」の会員になると、お店で割引やポイント付与、ベビーカーの貸出しなどのサービスを受けられます。パスポートは18歳未満の子どもがいる世帯であれば持つことができます。

仕事と子育ての両立支援では、平成29年度から「あおもり働き方改革推進企業認証制度」を行っています。一定の要件を満たした企業を県が認証し、金融機関と連携して有利な資金の融資が受けられるなど、いろいろなインセンティブを用意しています。現在109社(令和元年11月現在)の企業が参加していますが、今後は女性だけではなく、男性も積極的に育児に参加していくことが大事ですので、これからも認証企業を増やして、取組を進めていきたいと考えています。

県内の子育て環境について、待機児童数は、特に首都圏などで社会問題になっていますが、青森県の場合は4月現在だと0人で、全国1位となっていますし、認定こども園の認可件数も全国第1位です。元々青森県には保育所が多いのですが、比較的小規模で手厚い保育を行っている保育園も多くあります。また、小学校の放課後に行われている学童保育の利用率も、全国第11位と高くなっています。

## (知事)

青森県の場合、育児をしている25～44歳の女性の有業率は全国10位ですし、25～44歳の女性全体の有業率と育児をしている女性の有業率の差の小ささも全国1位です。

また、どれだけ女性が活躍しているかというデータでも、青森県は女性の社長の比率が全国1位、女性の管理職比率も全国第5位です。女性がどんどん活躍できるように、仕事と子育てを両立していけるように仕組みづくりをしています。

ただ、問題もあります。結婚する人が少なくなっていることです。皆さんも将来、自分の人生だから自分で決めていいのですが、もし、結婚してもいいかなと思った時には、ぜひしてみてください。やっぱり嫌だと思ったら、別にそれはそれで仕方がないと思いますし、それぞれ自分の人生を思いっきり生きてみましょう。





この先、急激に子どもたちが減っていきます。県としては、若い人たちに青森県に帰って来てもらうとか、いろんな施策をやっていますが、子育て支援制度などで応援もしていきますので、結婚してもいいかなと思った時には、ぜひ考えてみてください。

実は今、青森県の合計特殊出生率は1.43ですが、このまま社会減や短命県の状態が続くと、青森県の人口はぐっと減って行って、2080年では約43万人にまで減ってしまいます。

でも、合計特殊出生率が2030年に1.80、2040年に2.07に上昇し、なおかつ2040年には人口の流出入のバランスが取れて、平均寿命が国と同水準になれば、2080年頃で、なんとか70万人台を保つことができるという厳しい見通しです。

青森県だけではなく、日本全体で結婚をしない人たちがどんどん増えているので、「結婚っていいね」という気運醸成に取り組んでいこうと思っています。将来はどこに行ってもいいけれど、青森県では子育て環境を整えて待っています。

### （発言生徒3、高校2年女子）

青森県では、青森ねぶた祭り、弘前ねぶた祭りなど、毎年多くの伝統的なお祭りが開催されています。私も小学校の6年間は八戸三社大祭に参加し、3年生からは小太鼓を担当しました。7月の1か月間は、毎日、太鼓の練習があり大忙しでしたが、とても楽しんで取り組んでいました。今でも囃子を聞くと懐かしい気持ちになります。



八戸三社大祭は、2016年にユネスコ無形文化遺産に登録されました。これにより、日本だけでなく外国からの観光客も増えたように感じています。ニュースを通じてこれは青森県全体としての傾向だと知りました。今年、燕島で観光ガイドボランティアに参加した際に、外国人観光客の方が「これからねぶたを観に行くよ」と話していました。

このように夏の祭りをきっかけに青森県を訪れる人が増えましたが、お祭りシーズン以外にも県として観光客誘致に向けて取り組んでいることはありますか。

### （知事）

県がどれほど韓国、香港、台湾で営業活動してきたかを皆さんに伝えることができ嬉しいです。青森県の外国人観光客数を5倍に増やしましたから。

なぜ観光客誘致を頑張っているのかというと、今の人口減少にも関係してくるのですが、人が減ると経済の動きが小さくなるので、その分を何かで補わなければいけないからです。そこで農林水産業と観光業という青森県の得意分野を皆でもっと伸ばそうと頑張っているのが県庁です。

将来は県職員になりたいということです。いろいろな特技を覚えて県庁に来てくれたら嬉しいです。

### （誘客交流課）

本県を訪れる外国人観光客は、とても増えています。昨年度の外国人延べ宿泊者数は約35万人泊で、5年間の伸び率は全国で1位です。従業員10人以上の宿泊施設では約30万人泊で、東日本大震災以前と比較した伸び率は5倍以上と、全国の伸び率を大きく上回っており、東北1位です。

全国は、観光客数に季節ごとの変動はあまり見られませんが、青森県の場合は、春の桜、秋の紅葉

を求めて来訪する方がとても多く、次に、夏の祭りや冬の雪の時期が多くなっております。

多く来ている国・地域は、台湾、中国、韓国、香港など東アジアが多く、この4地域で全体の約8割を占めています。特に台湾での本県の知名度は高く、2人に1人が青森県を知っているぐらいです。ちなみに、知事は、台湾で一番人気のよく知られている知事で、それくらい知事自らが海外にもセールスをしているということです。

### (知事)

台湾での青森の知名度は53%です。私も台湾では青森よりもずっと多くテレビに出ています。例えば、りんご柄のTシャツを着てね。りんごの輸出も今や3万3千トンぐらいになっています。青森のりんごは本当に美味しいと評判です。

### (誘客交流課)

以前は、奥入瀬溪流や弘前城といった有名な観光地だけを巡る人が多かったのですが、最近では、見学するだけでなく、日本らしい、青森県らしい体験ができるコースも人気となっています。

本県は、美味しい食べ物や自然だけでなく、歴史に裏打ちされた魅力ある祭りや伝統文化も豊富で、種差トレッキング、横丁めぐり、酒蔵体験といったものまで幅広く体験できることも本県の魅力です。

海外で販売されている本県の旅行商品にも、豪華寝台列車「四季島」に乗車するものや、八食センターでのバーベキュー体験、酒蔵体験、八甲田ロープウェイでの樹氷の観賞、西目屋ダムツアーなどが盛り込まれているものもあります。

このように、見て巡るだけの観光ではなく、食や乗り物などを切り口とした体験メニューを充実させることで、本県での滞在時間をより長くし、また、リピーターを増やすことにもつながることから、今後も様々な実施主体と連携して取り組んでいきます。

### (知事)

夏の祭りだけではなく、いろんなことを売り込んでいます。

文化活動も必要だから、私がスコップ三味線を弾き、職員が歌ったりしますが、今日は職員がアカペラで歌います。



### (職員による南部俵積み唄披露)

このように、それぞれ営業活動を一生懸命しています。

太鼓をやっていたとのことですが、料理はできますか。私は香港と台湾のスタジオでほたての貝むきやりんごのカットなどをやったりしますが、そうすると青森名産ほたては台湾でもいろんなところで食べられるとか、ファミリーレストランでも鍋メニューをやっているとか、現地で報道されます。

だから、ぜひ、郷土料理も習得してみてください。県職員になるのであれば、大学に行って何か外国語も覚えてきてくれれば嬉しいです。

第二外国語は何がいいですか。

### (発言生徒3)

アジアの言葉を学びたいです。

### (知事)

いいですね。英語と中国語を学んできてくれたらすごく嬉しいです。太鼓ができるのなら、私の三味線と一緒にやれるかもしれないね。

将来の夢を叶えるために、今はとにかく一生懸命勉強してください。

### (発言生徒4、高校2年女子)

一度も行ったことのないランキング第1位、それが私たちが住む青森県です。東北最北端という微妙な遠さや田舎のイメージが強いことが一因だと考えられます。

そこで、私は、青森の魅力は何だろうと思い調べてみました。第1位 白神山地、第2位 リゾート白神、第3位 十二湖でした。私は、白神山地へ行ったことがあります。ぶなの森を抜け、暗門の滝を見た時の美しさと感動は今も覚えています。しかし、県民の中でも白神山地やリゾート白神、十二湖を訪ねたことがある人はそう多くはないと思います。



そこで私は、県民が県の観光スポットを体感する「青森県民デイ」の実施を提案します。その日は、交通機関、公共施設、県産品の割引やイベントを催し、県民が県の観光スポットを体感する機会を提供します。それにより、まずは県民が「守りたい、もっと多くの人に知ってもらいたい」と思える青森を創り出すことができますと思います。

### (知事)

非常に良いアイデアだと思いますが、なかなか実施は難しいです。というのは、どの施設や交通機関を対象にするのかなど、調整が難しいですし、青森を知ってもらうためのキャンペーンを実施することはできると思いますが、割引までやるのは予算上難しいと思っています。でも、非常に良い提案ですので、こういう提案があったということを前提にしてお話をしましょう。

### (誘客交流課職員)

青森県には、素晴らしい景色や祭りのほかに、美味しい郷土料理など、全国に誇れる観光資源がたくさんあるので、県外で観光PRキャンペーンを実施したり、「あおもり紀行」というイベントガイドブックを年に2回出したりして、青森の魅力を紹介しています。

よく旅行会社や駅にいろいろなツアーパンフレットが並んでいますが、東京、名古屋、大阪、九州、仙台、札幌の旅行会社を回って、青森県向けの旅行商品を作ってもらえるようにセールスを行っています。

そのほか、旅行会社やJR、航空会社の人を対象とした観光セミナーを開催したり、青森県で実際に観光を体験してもらうツアーを実施したりして、観光客が青森県にもっと来るようにと働きかけています。

今、力を入れて売り込んでいる観光コンテンツですが、春は、弘前の桜をメインに売り込んでいます。下から見るとハート型に見えるスポットは毎年必ず現れるので、鑑賞スポットとして紹介しています。桜の花びらがお堀に敷き詰められた花筏もあります。咲いている花もちろん綺麗ですが、花

筏もとても美しく、「死ぬまでに行きたい世界の絶景」にも選ばれたスポットです。「一度で二度おいしいお花見」ということで売り込んでいます。また、青森市と十和田湖を結ぶ道路を除雪してできる「雪の回廊」も人気です。高さは最高9mにも達します。

夏は、「青森ねぶた祭り」をはじめとして、国の重要無形民俗文化財やユネスコ無形文化遺産に登録されている「八戸三社大祭」、高さ22mの「五所川原立佞武多」、日本三大流し踊りの1つ「黒石よされ」、下北半島最大のお祭り「田名部祭り」など、県内各地の様々な祭りや観光地を紹介しています。

秋は、JR東日本のポスターにもなった蔦沼の紅葉。こちらは、一押しの観光資源として紹介しています。写真のような風景を見られるのは早朝の短い時間だけで、「奇跡の15分」と言われています。また、深浦町の北金ヶ沢には、樹齢1000年以上で幹回りが22mもある日本一巨大な「大イチョウ」があります。

冬は、八戸市をはじめとした南部地方に伝わる「えんぶり」、八甲田の「樹氷」、「ストーブ列車」、「十和田湖冬物語」などがありますが、最近だと、間近で見ることができる十和田奥入瀬の「氷瀑」も紹介しています。今月号の新幹線の車内誌「トランベール」の一番後ろでも奥入瀬の氷瀑を紹介しています。

県外から観光客にたくさん来てもらうだけではなく、県民にもいろんな県内のいろんな観光資源を知ってほしいと思っています。地元のは、本当はすごい観光資源だけど、身近すぎて意外と気づかないということもあると思います。

御提案のあった「県民デイ」はとても良いアイデアだと思いますが、県の観光情報サイト「アプティネット」や県民だからこそ知っている観光情報を県内外に紹介する「まるごと青森」というブログもあります。グルメや特産品などのカテゴリー、市町村別に記事を検索できるので、ぜひ、皆さんも県内の観光ネタを探してみてください。意外な発見もあると思うので、それを県外の皆さんに自慢してほしいです。

## (知事)

青森県は、観光PRに漁師さんや女子高生にも協力してもらっています。

(動画 「ディス(り)カバリー」 放映)

観光PRは綺麗なものを紹介するだけではなく、思い切りはじけたところがないといけないので、こういう取組もいろいろやっています。

誘客交流課の職員2人で青森のキャンペーンを即興でやってみましょう。

## (誘客交流課)

まず、「弘前公園の桜」は全部で約2,600本あり、世界の絶景を集めたカレンダーにも採用されています。

八甲田の「雪の回廊」は香港からも毎年ツアー客が訪れています。

「酸ヶ湯温泉」は、楽天トラベル2017年「湯治体験が人気の温泉宿」ランキングで1位になりました。

「不老ふ死温泉」は「マグステ井」とセットで皆さんに喜





ばれています。

「奥入瀬溪流」はトリップアドバイザー「行って良かった紅葉名所ランキング」で2位に選ばれました。「苔さんぽ」も女性を中心に、今、大人気です。

「白神山地」、は「輝く新緑 散策したいブナ林」として1位に選ばれています。

「リゾートうみねこ」は、最近列車の旅が流行っていますが、レストラン鉄道「東北エモーション」も先日復活したばかりで、海外からも注目されています。

ぜひ皆さんも自信を持って他県の人たちに自慢してください。

#### (知事)

単にチラシを配るだけじゃなくて、東京や大阪、韓国ソウル、香港、台北などいろんなところに行って、皆で頑張って売り込んでいます。そうしないと外国人観光客数が5倍になったりしません。

将来の夢は小学校教員とのことですが、子どもは好きですか？

#### (発言生徒4)

好きです。

#### (知事)

それが一番大事だと思います。先生の仕事はやはり子どもが好きでないと絶対に務まらないと思います。難しい仕事ですが、将来の夢を目指して頑張ってください。大学に行って、教員免許を取ってください。

あと、水泳25m泳げますか？

#### (発言生徒4)

泳げます。

#### (知事)

25m泳げれば大丈夫だね。将来の夢に向かって前進してください。

#### (知事)

意見交換は終わりましたが、観覧の生徒にも聞いてみたいと思います。

将来の夢は何ですか。

#### (その他の生徒)

動物の仕事に就ければと思います。

#### (知事)

いいね。北里大学獣医畜産学部に行ってみない。今、獣医師の県職員を募集していて、県庁に一定期間勤めてくれると奨学金返還が免除になりますが、どうですか。

#### (その他の生徒)

考えます。



**(知事)**

よろしく。

次の方、将来の夢は何ですか。

**(その他の生徒)**

歯医者です。

**(知事)**

いいね。歯磨きはバカにしちゃいけない。私も奥歯を抜いて初めて分かりました。

今日は最後に健康のことについてお話したいと思います。青森県は短命県で、平均寿命は全国最下位です。しょっぱいものをたくさん食べるので、血圧が高いからです。脳卒中、心不全、腎臓異常も多いです。これらを少なくしていくために、県では「だし活」ダンスによるPRを行っています。

なぜ、「だし活」ダンスかということ、減塩を推進し、高血圧を減らすためにやっています。出汁を料理に生かすことと、野菜を食べることが減塩にはすごくいいということなので、頑張っただけの結果、野菜の摂取量も 50g 増えましたし、平均寿命はまだ最下位ですが、健康寿命はどんどん良くなって、男性が 34 位で女性が 20 位です。将来的に君たちが大人になる頃には、健康寿命はベスト 10 に入っていたと思っています。

ということで、「だし活」ダンスを皆さんに披露して帰りたいと思います。

**(だし活ダンス披露)**

このように健康づくりをやっていますが、青森の 3 大問題は、お酒、たばこ、塩です。要するに、吸い過ぎ、飲み過ぎ、しょっぱ過ぎ。これが短命県の原因です。

でも、「だし活」ダンスで 6 年間減塩を PR し、今年で 7 年目になりますが、やっているうちに本当に塩分摂取量が少なくなってきました。

君たちも 20 歳になったら、たばこは吸える、お酒は飲めると思うかもしれないけど、量は適量で、そして、可能な限り出汁を使ったりして、塩は使わないようにしてくれればありがたいです。なおかつ、野菜を食べましょう。かつては長野県が 1 日 350g、青森県が 250g で、1 日 100g の差がありましたが、トマトあと 1 個分だと言いながら活動をしていたら、半分の 50g まで差が縮まりました。健康状態は良くなっています。

何が言いたいかというと、未来のために一番大事なのは、もちろん勉強や学力も大事ですが、君たちが健康にいるということです。繰り返し言いますが、酒とたばこ塩は適量に。そして野菜や果物を食べましょう。そのことを心からお願いして、終わりにします。

今日はすごく楽しかったです。それぞれの夢や質問に答えることができたと思っていますが、これからも君たちのために、よりよい未来に活躍できる場をしっかりと作っていきたいと思っています。



とても良い時間をありがとうございました。

